

2 予算案のポイント

「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向けて ～ 学びと自治の力で拓く新時代 ～ 「学びと自治の力」を発揮し、しあわせ信州創造プラン 2.0 を着実に推進

◇ 学びの県づくり

【生涯を通じて学べる環境の整備】

「学びの関係人口」の拡大と交流を推進し、これからの学びを創造するため、様々な立場で学びに関わる人々が国内外の多様な学びに触れ、互いに交流を深めるシンポジウム等の開催や、WEB上の交流プラットフォームの構築を行います。

◇ 産業の生産性が高い県づくり

【海外との未来志向の連携】

東京・北京と続くオリンピック・パラリンピックを契機に、友好提携先の中国河北省・北京市との関係強化及び経済連携を促進するため、県スキージュニア選手と中国ジュニア選手の合同練習の実施や北京冬季オリンピックに合わせた訪中、要人との会談を行うとともに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン・事前キャンプ地における新型コロナウイルス感染症対策を実施します。また、協定締結5周年を迎える韓国江原道・ソウル特別市を訪問し、観光・経済交流促進のための関係強化に向けた会談等を行います。

◇ 人をひきつける快適な県づくり

【移住・交流の推進】

地方回帰の動きを捉え、移住者や二地域居住者を県内に呼び込むため、仕事と暮らしをセットにした情報発信や移住者受入体制の充実に取り組むとともに、地方との関わりを求める都市部住民と県内地域とをつなぐ取組等を関係部局や市町村、民間事業者と連携して進めます。

【生活を支える地域交通の確保】

県民にとって身近な移動手段であり環境負荷の低減に資する地域公共交通の維持・確保のため、自家用車から公共交通への転換を促進するとともに、持続可能な地域交通ネットワークの構築に向けた取組や公共交通機関におけるキャッシュレス化を進めます。また、地域鉄道事業者の安全輸送や減災のための設備投資、駅舎のバリアフリー化等を支援します。

【先端技術の積極的な活用・導入】

「長野県DX戦略」の具体化に向け、的確な情報発信や時間・場所にとらわれず相談可能な環境を整備します。また、県内のIT関連の取組の実施拠点を5Gでつなぎ、デジタルを活用した新事業創出を目指す人材が県内各地から参加できる機会を提供するとともに、その取組を全国に発信します。

【信州まつもと空港の発展・国際化の実現】

新型コロナウイルス感染症の影響により減少した空港利用の回復と空港の発展・国際化を推進するため、発着路線の利用促進や沖縄とのチャーター便の運航促進等に関係団体と連携して取り組むとともに、安全・安心な空港に向けた管理運営を行います。

◇ 自治の力みなぎる県づくり

【個性豊かな地域づくりの推進】

「地域発 元気づくり支援金」により、市町村や公共の団体等の自主的・主体的な取組を支援するとともに、「地域振興推進費」を活用し、地域振興局長がリーダーシップを発揮して地域課題の解決に取り組みます。

住民が主体となった地域づくり活動の拡大・活性化を図るため、活動の担い手や担い手を支援する人材の育成・確保・活動支援等に取り組むとともに、住民の地域づくりに対する意識の向上や主体的な関わりを促すための環境づくりを行います。

市町村の持続的・効果的な行政サービスの提供に資するため、国の支援制度が適用されない地域において、市町村が広域的に連携して実施する事業に対して助成します。

【信州のブランド力向上と発信】

デジタル媒体による広報の強化や新型コロナウイルス感染症に関する情報発信を実施するため、迅速で、より目的に適した情報発信が可能なWEB広告の導入及び機動的な情報発信体制の整備を行います。

◇ 学ぶ県組織への転換

【総合的な施策の企画・調整】

客観的な証拠に基づく政策形成を推進するため、データを効果的に活用した現状の把握や要因の分析等を実施します。

【しごとの質と生産性の向上】

行政のデジタル化による県民サービスの向上及び業務の効率化を図るため、ICTの活用を推進します。

◇ コロナ禍の暮らしと産業を支え抜く

【地域公共交通の維持】

厳しい経営環境が続く交通事業者を支援するため、県民の暮らしを支える地域鉄道事業者や路線バス事業者の運行継続に要する経費等を支援するとともに、信州まつもと空港の国内定期便を運航する航空会社の運航経費を支援します。